

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

記者発表資料
平成18年6月23日
環境創造局 環境科学研究所長
山口 敬義 (752-2605)
都心部公園担当課長
小山 義訓 (671-3647)
環境管理課長
橘 一秀 (671-2474)

アスベスト関連情報をお知らせします

1 大気環境中のアスベスト濃度春季調査結果についてお知らせします

横浜市では、市域における大気環境中のアスベスト濃度の実態を把握するため、平成18年度から、新たに各区1地点全18区で調査を実施しています。

今回5月22、23日に実施した春季調査の結果がまとまりましたのでお知らせします。なお、今後は夏季、秋季及び冬季に調査を実施いたします。

・調査結果

各地点の濃度の範囲は0.04未満～0.61本/リットルで、環境省が平成17年度に実施した全国的な調査の結果（「平成17年度アスベスト緊急大気濃度調査結果について」平成18年3月31日報道発表）の範囲内（0.11未満～1.38本/リットル）となっております。

なお、アスベストには環境基準はありませんが、WHOの環境保健クライテリアによると、世界の都市部の一般環境中のアスベスト濃度は、1本～10本/リットル程度であり、この程度であれば健康リスクは検出できないほど低いと記載されておりますので、本市の調査結果についても問題になるレベルではないと考えております。

一般環境大気中のアスベスト濃度調査結果

NO	調査地点	アスベスト濃度	NO	調査地点	アスベスト濃度
1	鶴見区生麦	0.04	10	金沢区富岡東	0.04未満
2	神奈川区広台太田町	0.04	11	港北区大豆戸町	0.17
3	西区平沼	0.08	12	緑区三保町	0.61
4	中区本牧大里町	0.04	13	青葉区市ヶ尾町	0.22
5	南区南太田	0.04	14	都筑区茅ヶ崎中央	0.18
6	港南区野庭町	0.17	15	戸塚区汲沢	0.04
7	保土ヶ谷区桜ヶ丘	0.04	16	栄区犬山町	0.27
8	旭区鶴ヶ峰	0.04未満	17	泉区和泉町	0.26
9	磯子区磯子	0.08	18	瀬谷区南瀬谷	0.13

(単位： 本/リットル)

※ この情報に関する問い合わせ先：環境科学研究所長 山口 敬義 (752-2605)

2 本牧市民公園の蒸気機関車のアスベスト除去等工事を実施します

本牧市民公園には、当時の国鉄から借り受けた蒸気機関車のD51が昭和45年から保存展示されています。昨年8月、全国の展示蒸気機関車にアスベスト使用の可能性があり、JR東日本が調査を実施する旨発表しました。当該公園のD51については、発表翌日から展示場を閉鎖し一般の立ち入りを禁止しています。9月にJR東日本により調査点検が実施され、合わせて補修も行われました。11月にはJR東日本が「飛散のおそれはなかった」と調査結果を発表しています。

本年4月に当該D51の調査結果が本市に送付され、「飛散する状態ではありません」というものでしたが、本市においても独自に大気中のアスベスト濃度調査及び、アスベストの除去、封じ込め等の工事を実施し、来春には閉鎖している展示場の開放を行う予定です。

また、類似の展示施設についても調査を実施してまいります。

※ D51のアスベストに関する問い合わせ先：都心部公園担当課長 小山 義訓(671-3647)

※ 類似展示施設調査に関する問い合わせ先：環境管理課長 橘 一秀(671-2474)

3 公共建築物のアスベスト含有吹付け材等の追跡調査についてお知らせします

横浜市では、公共施設利用者等の安全を期するため、公共建築物におけるアスベスト含有吹付け材等の使用状況について、各所管局で実態調査を実施し、すでに記者発表（平成17年11月9日「公共建築物のアスベスト含有吹付け材等の実態調査の報告」）をしておりますが、新たに使用状況が判明した施設がありましたので、お知らせいたします。

(1) 追跡調査結果

新たに判明した施設は次に示す2施設ですが、大気浮遊量調査の結果は、いずれも定量下限値以下でした。また、いずれも一般市民の利用施設ではありません。

ア 栄第二水再生センター（電気室、ポンプ室等）

イ 地下鉄高島町駅（機械室）

(2) 今後の対応

アスベスト含有吹付け材について、使用場所や劣化状況等に応じて、除去や封じ込め、囲い込みなど必要な措置を計画的に実施してまいります

※ この情報に関する問い合わせ先：環境管理課長 橘 一秀(671-2474)